

平成
28年度

e-ラーニング活用型

研修主催 公益社団法人北海道看護協会
研修共催・運営 株式会社学研メディカルサポート

医療安全管理者養成研修のご案内

通えない…まとまった時間がとれない方に最適です！
e-ラーニングは、いつでも、何回でも視聴(受講)できます。

社会保険診療報酬「医療安全加算」算定要件内の
「医療安全対策に係る適切な研修」に該当します

開催期間：平成28年8月1日(月)～11月11日(金)

集合研修：①事例分析の意義と手法(河野龍太郎先生)
平成28年10月22日(土) 9:30～16:30

集合研修：②医療安全管理者の役割と活動の実際(杉山良子先生)
平成28年10月23日(日) 9:00～17:00

受講対象： 1. 所属する医療機関で医療安全管理者の任にある者
または今後医療安全管理者の任につく予定のある者
2. 施設長または看護部門の責任者の推薦を得られる者
3. 保健師、助産師、看護師

受講料： 会員:32,400円(税込) 非会員:64,800円(税込)
定員： 100名(最低催行人数35名)

申込方法 1. インターネット申し込み……北海道看護協会ホームページから
学研メディカルサポートホームページにリンクしています。
また学研メディカルサポートホームページから直接お申し込みもできます。
2. FAX申し込み
学研メディカルサポートに直接FAXを送信してください。
※申込書は、平成28年度北海道看護協会教育研修計画内または北海道看護協会
ホームページ内「申込書3」を使用してください。

監修者 **杉山良子先生**
前 日本赤十字社 事業局 医療事業部 医療安全課長

医療施設における「医療安全管理者」の役割は、ますます重要性を増しています。ただし、中小病院をはじめとして、6日から7日間の決まった日に、研修を受講することが困難な受講希望医療者も多いと言われています。当研修プログラムでは、第一線でご活躍の一流講師陣によるe-ラーニングと、2日間14時間の集合研修で、40時間以上の研修を受講できるようにしました。また、医療安全管理者の対象となるすべての医療者に受講いただける内容ですが、とりわけ対象となる人数の多い「看護師」を意識して構成しております。真に「学習したい」「学習させたい」層への学習機会の切り札として、今回 e-ラーニング・集合研修兼用のプログラムを開発しました。このご機会にぜひ、お申し込みのうえご利用いただければ幸いです。

▶▶ 研修カリキュラム (e-ラーニング研修)

	科目・内容	講義(h) (テスト時間含む)	講師 (敬称略)
1	医療安全の考え方	3	鮎澤 純子 (九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学専攻 准教授) 後 信 (九州大学病院医療安全管理部 教授)
2	日本における医療安全の政策	1.5	小林 美雪 (山梨県立大学看護学部 成人看護学領域 講師)
3	事故発生のメカニズム	2	河野 龍太郎 (自治医科大学 メディカルシミュレーションセンター センター長 医療安全学教授)
4	医療における業務プロセスと標準化	2	棟近 雅彦 (早稲田大学 理工学術院 教授)
5	医療安全の啓発と教育	2	棟近 雅彦 (早稲田大学 理工学術院 教授) 梶原 千里 (早稲田大学 創造理工学研究所)
6	医薬品の安全管理	2	荒川 隆太郎 (澁野辺総合病院 薬剤部長)
7	医療機器の安全管理	2	黛 成彦 (済生会横浜東部病院 TQMセンター 医療安全管理室 / 医療安全推進担当 / 臨床工学技士)
8	臨床現場におけるエラーや事故	4	杉山 良子 (前 日本赤十字社 事業局 医療事業部 医療安全課長) 黒川 美知代 (武蔵野赤十字病院 医療安全推進室 専従リスクマネージャー)
9	医療の質改善の考え方(事例分析から改善へ)	1.5	井上 則雄 (竹中工務店 大阪本店 企画管理グループ)
10	事故発生時の対応	3.5	伊東 亜矢子 (新星総合法律事務所 / 弁護士) 河上 章恵 (武蔵野赤十字病院 患者相談室 室長 / 医療メディエーター)
11	患者・家族とのパートナーシップによる医療安全	1.5	山内 桂子 (東京海上日動メディカルサービス株式会社 メディカルリスクマネジメント室 主査研究員 / 医療社会心理学)
12	危険予知トレーニング(KYT)	2	杉山 良子 (前 日本赤十字社 事業局 医療事業部 医療安全課長)
13	海外とわが国の医療安全の取り組みと医療者間のコミュニケーション	2.5	種田 憲一郎 (国立保健医療科学院 上席主任研究官)
14	安全文化の醸成	1.5	杉山 良子 (前 日本赤十字社 事業局 医療事業部 医療安全課長)
15	医療事故をめぐる組織的対応の実際	2	長尾 能雅 (名古屋大学医学部附属病院 副病院長)
16	医療事故調査制度	1.6	長尾 能雅 (名古屋大学医学部附属病院 副病院長)
17	転倒・転落をシステムとして考える	1.5	杉山 良子 (前 日本赤十字社 事業局 医療事業部 医療安全課長)
18	医療安全管理者としての役割と実践	1.5	黒川 美知代 (武蔵野赤十字病院 医療安全推進室 専従リスクマネージャー)

※やむを得ない事情により、タイトルや講師が変わることがあります。

お問い合わせ先・
お申し込み先

北海道看護協会事業部教育課 TEL:011-861-3273
学研メディカルサポート医療安全研修係 TEL:03-6431-1228
お申し込みFAXまたはホームページ(学研メディカルサポート) FAX:03-6431-1414
URL:http://gakken-meds.jp/